

# 「真菌と真菌症：先端知識のアップデート 2007」

## 開催のご案内

拝啓

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨今主要な病原真菌のゲノム解析も着実に進み、出芽酵母のゲノム情報とともにデータベースを利用した医真菌学研究が今や長足の進歩を遂げつつあることは、皆様のご承知の通りです。また、真菌症の発症頻度が年々増加し、その対策もきわめて重要な課題となっています。そこで「真菌と真菌症：先端知識のアップデート 2007」と題したミニシンポジウムを開催することに致しました。幸いに第一線でご活躍の国内外の研究者に先端の話題を提供していただくことになりました。この際に先端知識のアップデートを行い、将来の医真菌学研究の方向性についてお互いに情報を交換していただきたいと願っております。

ご多忙の時節とは存じますが、お気軽にご参加下さいますようご案内申し上げます。なお、懇親会の準備の都合上、出欠を電子メールその他にて10月31日までに世話人までご連絡いただければ幸いです。

敬具

2007年10月11日

世話人：

新見昌一  
国立感染症研究所生物活性物質部  
Ph: 03-5285-1111 (内 2326)  
Fax: 03-5285-1272  
E-mail: [niimi@nih.go.jp](mailto:niimi@nih.go.jp)

楨村浩一  
帝京大学医真菌研究センター  
Ph: 0426-78-3256  
Fax: 0426-74-9190  
E-mail: [makimura-tei@umin.ac.jp](mailto:makimura-tei@umin.ac.jp)

主催： 国立感染症研究所・学友会セミナー  
共催： 日本医真菌学会  
厚生労働科学研究費(新興・再興感染症研究事業真菌研究班)

# 「真菌と真菌症：先端知識のアップデート 2007」

日時：2007年11月7日(水)午後2時から

会場： 国立感染症研究所、共用第一会議室、  
〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1  
(JR高田馬場駅から地下鉄東西線に乗り換え早稲田駅下車、  
感染研まで徒歩8分、または大江戸線若松河田駅下車、徒歩10分)

懇親会費:1500円(終了後、所内の喫茶室モアで簡単な懇親会を開きます。

多数ご参加ください)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

はじめに:宮崎義継(国立感染症研究所生物活性物質部)

司会:榎村浩一(帝京大学医真菌研究センター)

14:10-14:40 中村遊香先生(共立製薬学術部)

演題:人獣共通感染症

14:40-15:10 比留間政太郎先生(順天堂大学練馬病院皮膚・アレルギー科)

演題: *Trichophyton tonsurans* 等話題の皮膚真菌症

15:10-15:40 亀井克彦先生(千葉大学真菌医学研究センター)

演題:真菌と肺疾患との新しい関係

15:40-16:00 休憩

司会:新見昌一(国立感染症研究所生物活性物質部)

16:00-16:30 杉田 隆先生(明治薬科大学微生物学教室)

演題:病原真菌の多様性と病原性-酵母から糸状菌まで-

16:30-17:00 Dr. Bernhard Hube (Department of Microbial Pathogenicity  
Mechanisms, Friedrich Schiller University Jena, Germany)

演題: From blood into tissue: infection associated genes of  
*Candida albicans* during systemic infections

主催: 国立感染症研究所・学友会セミナー

共催: 日本医真菌学会

厚生労働科学研究費(新興・再興感染症研究事業真菌研究班)